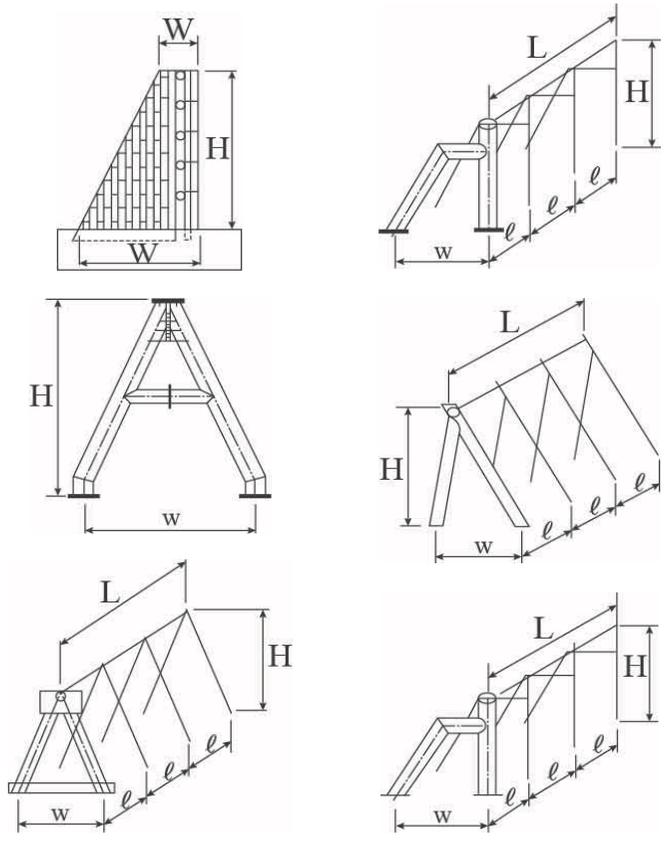


編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 值	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
19 治山編	1 溪間工	8 鋼製ダム工	4		鋼製ダム本體工 (透過型)					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
19 治山編	1 溪間工	8 鋼製ダム工	5		鋼製側壁工	堤 高 $\nabla$	$\pm 50$	1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。			
						長 さ L	$\pm 100$				
						幅 $w_1, w_2$	$\pm 50$				
						下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H$				
						高さ h	$h < 3m$				-50
	$h \geq 3m$	-100									
19 治山編	1 溪間工	9 木製治山ダム工	5		木製治山ダム本體工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 100$	1 施工箇所毎			
						長 さ L	-50				図面の表示位置で測定。断面、形状等の変化点毎に測定する
						幅 (厚さ) $W1, W2$	-50				
19 治山編	2 流路工	3 護岸工	4		コンクリート擁壁工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。			
						厚 さ t	-20				
						裏 込 厚 さ	-50				
						幅 $w_1, w_2$	-30				
						高さ h	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
						のり勾配	$\pm 0.5$ 分				
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎